

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-22

☎042-724-2171

保守の会会派室



7 期目の議会活動

美術工芸館建設を否認

第 2 定例会が開かれ、石阪市長の目玉施策を含んだ予算案を審議しました。(仮称) 町田市立国際工芸美術館の実施設計予算が盛り込まれており、その必要性、緊急性に関して、議会の中には以前から異論が多いものでした。私は、「展示予定の町田市の収蔵品の価値がほとんどない、新規施設を造っても入場者が見込めない」という疑問と批判を提起してきました。その根拠は、私自身が長く工芸品の卸販売の営業職をしていたことで、それらを見る(価値判断する)目が備わっていると自負してきたものです。新築する工事費は 30 億円に達する見込みであり、「町田市は財政が切迫している、あるいは施設の統廃合が必要だ」とされる時、新たな文化施設の必要性はないという判断です。

今回の予算審議において、公明党が提出した修正案(工芸美術館の実施設計予算を削除する)は、自民党を除く全員(共産党は退席)が賛成し可決しました。石阪市長の予算案が修正されたのは、2013 年以来(風しんワクチンの無料化を求めた修正案が可決)のことです。その際は、石阪市長が「再議」で同じ内容の議案を再度議会に提案して、自分の考えを押し通しました。その「再議」では、議案は過半数の賛成でなく、3 分の 1 以上の賛成で可決するという、市長にとって極めて有利な手法となっており、これは法律が別途認められた異例な方法であるわけです。

私の見立てでは、市長が直ちにこの工芸美術館建設を強行する方針は取らないだろうといち早く推測しました。



町田市の収蔵作品の展示を事前に鑑賞

毎日新聞の工芸美術館記事は、欠陥商品

この審議、採決結果は、左記のように非常に珍しい事例であり、議会の存在価値を改めて知らしめたと言っても過言ではないと考えています。議会には予算案の提出権がなく、その最大の権限が予算修正しかないことから、今回の議会の政治判断は、特記すべき状況だと考えるものです。翌日以降、どの新聞(全国紙多摩版 3 紙・朝日、読売・毎日)を見ても、ただの 1 行もこの件に関する記事がありません。読者に必要な情報を提供する機会を無視した、報道姿勢と思っています。

特に、毎日新聞は 5 月 16 日の記事に、行政によるリーク情報をもとに、「町田市国際工芸美術館 22 年度末の完成目指す」という見出しをつけ、その予算案を市議会に提案することや建設内容をニュースとして大きく掲載していたのですが、肝心の議会がその予算案を認めず、当該部分を完全に削除して修正させた事実を一切報道していません。メディアとして、著しく公正さを欠く姿勢と指摘されるべきものであり、その記事内容は「欠陥商品」と考えています。

★ 政党は無所属・市議会は無所属の保守の会 総務常任委員会に所属

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ (自宅)

町田市議会議員 **3 期連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中

研修レポート8 立木優花

町田市議会定例会を傍聴しました。まず、私が気になったのは「まちだ〇ごと大作戦」についての一般質問です。まちだ〇ごと大作戦とは 2018 年から 2020 年までの 3 カ年をチャンスと捉え、市民活動・地域活動を盛り上げて町田の魅力や活力を高める取り組みです。3 年間で 300 件の提案事業を行うことを目標としていますが現在、実現されたのは 1 件だそうです。課題としては周知不足やスピードに事が進まないことなどです。解決に向け、市のサポートがさらに必要になると思います。町田市には大学が多くあるので若い世代にも地域と人で新しいつながりができる魅力的な取り組みについて興味を持てるよう、情報発信するべきだと感じました。



行政職員からヒアリングに同席中

次にフレイル予防についてです。フレイルという言葉をご存知でしょうか？私は初めて知りました。フレイルとは健常な状態と要介護の状態の中間のことです。高齢者のフレイルは生活の質を落とすだけではなく様々な合併症も引き起こす可能性があります。今後の課題は特に、一人暮らしの高齢者が孤立

しないように地域のサポートやフレイルサポーターの養成、介護が必要になる前の健康づくりが大切なわけです。

議会では町田市のより良い街づくりの為に、この他にも幅広い分野の話し合いが行われています。



(様々の施設を見学するインターン研修)
立木優花 東京家政大 3 年生(第 41 期生)

町田市の補助事業で不正使用

「町田市新・元気を出せ商店街事業」(＝現在、町田市商店街チャレンジ戦略支援事業)の補助金対象商店街のイベント事業において不正受給が発覚しました。町田市は、今年度分の交付決定を取り消し、既に交付済み(過年度分)の補助金について、全額の返還と違約加算金を求め、すでに納付済みと発表しました。今後、多方面の商店街にも事業の報告を受けるものでしょう。これらの事業は議会で私が、その名前を変えて継続される商店街支援事業の効果に疑問を投げかけ、その廃止を含めた改善を求めてきた事業でした。

★ 吉田つとむのインターンシップは 1998 年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

* この市議会報告の印刷、発行経費に関して、市議会の政務活動費は使用していません。